

事業所名 **あいうえお** 支援プログラム 作成日 **令和7** 年 **3** 月 **10** 日

法人（事業所）理念		意欲・楽しい・自信					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・社会性、人間性が身に付くサービスを提供します。 ・利用児童、保護者に安心・安全をお届けします。 ・従業員全員が安心して働けると共に、成長し続ける機会を提供します。 ・地域に根差した会社を目指します。 					
営業時間		9 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所後に検温を行い、健康状態のチェックを行う。 ・元気に遊びや活動に参加できるように、些細な変化も見逃さないように目を配る。 ・昼食やおやつを通して食育や食具の扱い方、マナーを学ぶことができるよう、適宜手本の提示や声かけ等を行う。 ・食事のみならず排泄等も含めた基本的な生活スキルの獲得を目指し、児童の発達段階やその時の状態に合わせて構造化を行う。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・食事やおやつ、活動中に姿勢を維持することができるよう、運動遊び等を通じて体幹トレーニングや筋力強化を行う。 ・自力歩行が困難な児童に対しては、併用先やかかりつけの整形外科（リハビリ）とも連携をし、当所でもできる歩行練習に取り組む。 ・感覚過敏や感覚鈍麻等の特性に合わせて、全身を使った感覚遊びを通じて偏りや差を縮めるための取り組みを行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・衝動性の高い児童やコミュニケーション力が乏しい児童に対しては、怪我防止や失敗体験を減らすために適宜個別対応を行う。 ・個別学習等を通じて、必要な情報を集める力や、集めた情報を望ましい行動（実践）に繋げる力の向上を図る。 ・物の形や重さ、色、機能等を比べる活動を行い、それらを行動のヒントとして活用できるような取り組みを行う。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる楽しさや良さを感じられるよう、児童の発達段階に合わせてながら、音声言語にこだわらずジェスチャーや視覚支援等のノンバーバルな手段も用いて児童と関わりを持つ。 ・適切な手段で相手に意思を発信することができるよう、寄り添いながら伝達練習を行う。 ・就学を見据え、発達段階に合わせて読み書きの力の向上を図り、手紙等の文章のやり取りができるような支援を行う。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・特に年齢の低い児童や愛着形成に課題がある児童に対しては、適切な距離を保ちつつスキップを図りながら安心できる関係づくりを行う。 ・自我の芽生えや視野の広がりをサポートし、人と関わりながら社会性の向上や気持ちをコントロールする力の向上を目指す。 ・小集団で過ごす上での約束事やマナーを学び、自分で望ましい行動を考えたり選択をしたりすることができるような支援を行う。 					
家族支援	個別支援計画書に係わる面談だけでなく、日頃から情報共有を図る。家庭内での困り感や成長の共有は勿論のこと、自ら外部に何かを発信することが苦手な保護者に対しては、会話の中で保護者のSOSに気づくことができるよう配慮をする。また、児童を取り巻く環境(兄弟関係等)にも目を向け、総合的な対応を検討する。	移行支援		先を見据えた支援として、通っている幼・保・小学校への訪問を行い、事業所外での姿を把握する。また、入園・入学予定の場所と事前に連携を図り、児童が生活しやすい環境を整える。			
地域支援・地域連携	活動の一環で、児童とともに地域の子育てサロンや児童会館へ訪問し、遊びを通して事業所近隣に住むご家庭と関わりをもったり情報交換を行ったりする。	職員の質の向上		月1回ミーティングを実施して個別ケースの取り上げや事例検討を行い、より良い支援について協議をする。また、虐待防止に係わる研修も毎月実施し、世の中の動きや法の整備に目を向ける機会を設ける。			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の餅つき・節分・ひな祭り・こどもの日・ハロウィン・クリスマス会等、日本の行事に合わせてイベントを実施する。また、母の日や勤労感謝の日等、祝日に合わせて制作を行い、周りへ感謝を伝えることも大切にしている。その他、季節ごとの制作や水遊びも取り入れる。 						